

2018年4月30日(月) 晴

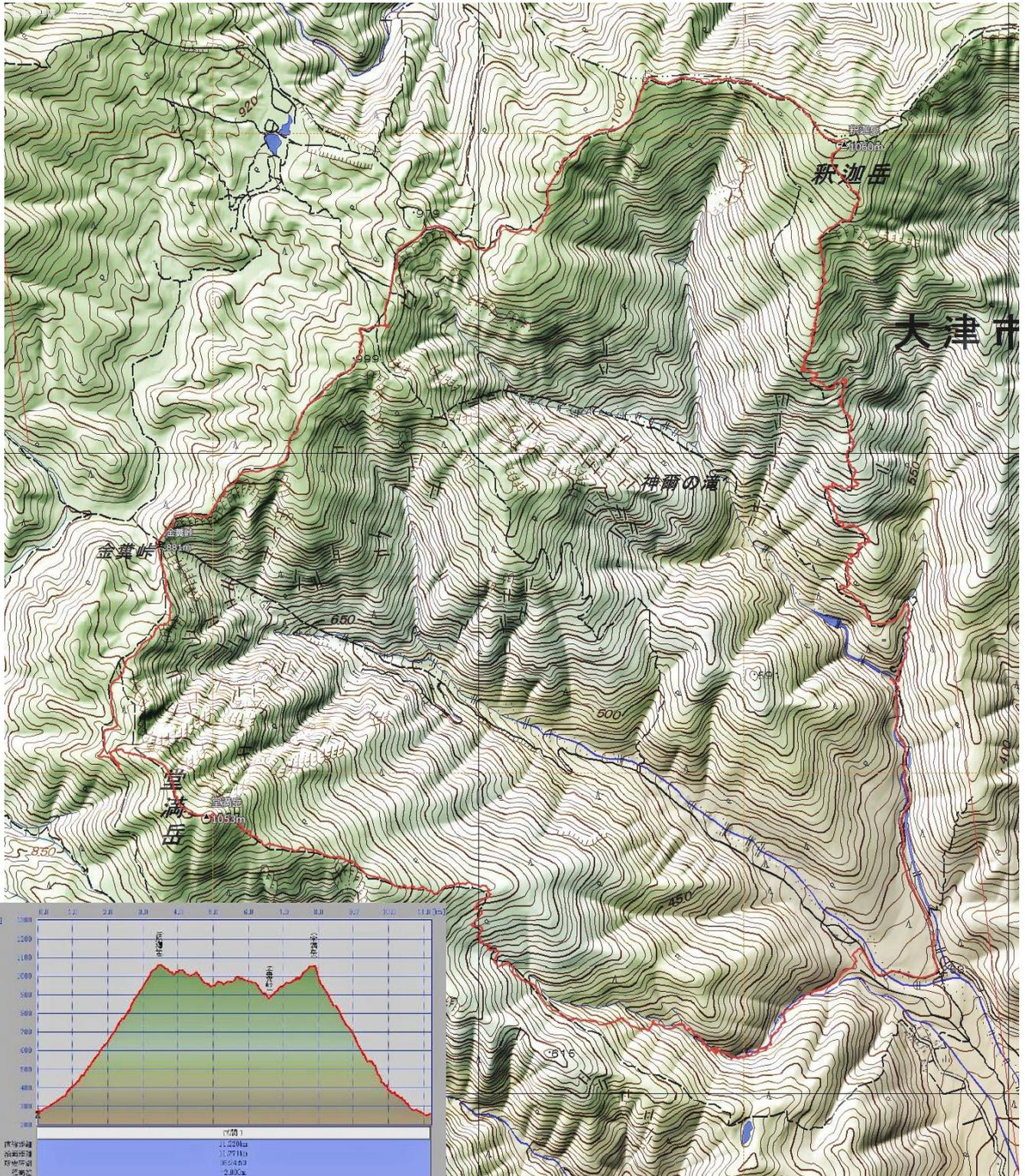
比良山地「釈迦・堂満岳」

単独行

コース距離： 11.8 km、 所要時間： 6時間25分 (休憩含む)

コースタイム： イン谷出合(9:21)→(9:53)釈迦分岐→(10:38)旧リフトシャカ駅  
→(11:34)釈迦岳→(12:23)北比良峠【食事休憩】(12:52)→  
(13:18)金糞峠→(13:55)堂満岳→(14:52)イン谷分岐→  
(15:46)イン谷出合

\* 山行軌跡と行程グラフ



山行記：車で自宅を7時25分に出てイン谷出合に何時も止める橋の手前は満車状態で奥に進むと曲った先にも車が多数止められ出会いから120m程入った所に車を停める。

堂満から釈迦に回る予定だったが車の中に停めたので逆コースに行くことに決めて登山準備を済ませて、女性の登山グループが歩いて行かれ9時21分歩き出す。

女性グループと歩調を合わせようとするが一人歩きは早くなってしまい追い抜いてしまう、神爾の滝手前の分岐で右折して釈迦岳を目指して進んで行くとオオイワカガミが群生して咲いている。

旧シャカ駅に人の気配がしたが着いた時は誰も認められない、旧駅からすぐ分岐と思いきやなかなか登り口に着かない登り口からは急登となる。

釈迦までの中腹まで来ると、今日目的の石楠花が咲いているその先には人の気配がしてきた、皆さんもシャクナゲの花を観に来られている様だ。

先日ヤマレコでシャクナゲが満開になっている情報を得て私も来たが、今年は本当に満開に咲いている所を観られ咲いていない蕾は見られない。

釈迦岳に到着し一休みしてから北比良峠を目指して進んで行くき北比良峠には先客が食事をされ私も舞子沼を見下ろせる所に腰を落とし食事休憩を摂る。

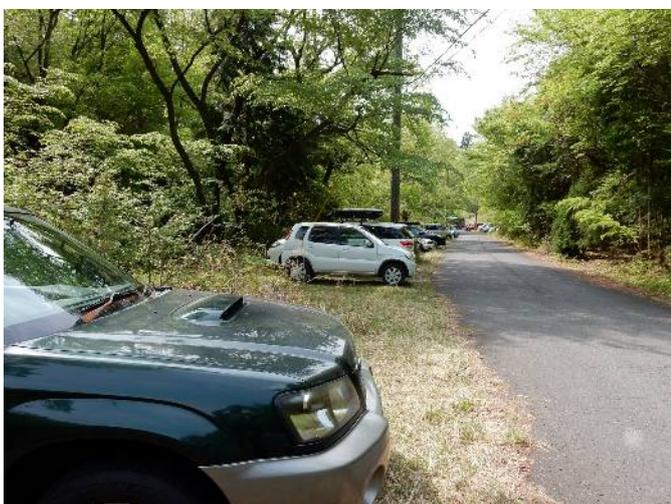
食事後は金糞峠への尾根道を歩く、此処もシャクナゲ尾根と言われ花が咲き誇っている中を歩いて行くと金糞峠に着いて、此処からは堂満を目指して進んで行く。

南比良への分岐から直登は歩き難そうなので南比良への道を進んで行く、先行者が一人居られ路が何すじも有り私は左寄りの道を選択しながら行くと先行者がぶつぶつ難しいと言いながら左に寄って来ながら進まれる。

尾根が張り出したところを先行者はそのまま進まれ私も合せて進むが尾根から遠ざかるので引き返し尾根を登って行く去年の秋に堂満から降りて来た道だ堂満岳に着いたが誰れ居られない少し休んでいたが来る人もいなかった。

堂満からの急登を下って行く急登が終わり新緑の登山道に入ると大勢のグループを追い抜いて行く、この先も先行者が下っておられる、旧登山道分岐からイン谷への道に入るが他の方たちは皆ノタノホリへの道を行かれる。

歩き難い道を下って行く秋の時は此処を登って来たが下りの方が通り道を探すのが難しいが難とか通り抜けて堰堤を越すと歩き易い道になってイン谷出合に出て車の駐車場所に帰って来た。



イン谷出合から入る



神爾谷の分岐



オオイワカガミ (ピンクと白)



釈迦岳分岐 (右⇒釈迦岳へ)



ツツジ



石楠



花



石楠花



スミレ



登山道を倒木が塞いでいる



釈迦岳山頂の三角点



畑の段々畑を見下ろす



登山道より堂満岳を望む



カラ岳から比良ロッジ後への登山道が崩壊している



北比良峠から金糞峠へのシャクナゲ尾根の石楠花





シャクナゲ尾根からの堂満岳



金 糞 峠



堂 満 岳 の 山 頂